

【CCCとの交流】

先週の大学礼拝は韓国のCCCの学生のみなさんにご担当いただき、《ブラック・ライト》《ダンス》《スキット》《証》《さんび》といった多彩なプログラムを行っていただきました。礼拝後には、黒澤記念講堂2階集会室で茶話会の時間を持ちました。韓国と日本の大学生の交流の絶好の機会でもあり、韓国の学生が日本語で自己紹介したり、数年来CCCの学生たちと交流を持ち続けている学生が韓国語で自己紹介したりしながら、言葉や文化の壁を超えて楽しく笑い合っている姿を頼もしく感じました。韓国と日本との間にある負の歴史や摩擦を乗り越えていく可能性を若い学生たちが持っていることに希望を与えられた気持ちでいます。

《茶話会後の記念撮影》



【次回の大学礼拝】2018年7月24日(火)10時40分

次回の大学礼拝は前学期の最終礼拝となります。奨励はキリスト教学教員の高橋優子先生がご担当なさいます。学生、教職員のみなさん、最終礼拝にぜひご出席ください。

【前回の大学礼拝】2018年7月10日(火)10時40分

学生 275名 教職員ほか 23名 合計 298名

【大学礼拝週報】 2018年度 第14号 (前学期第14号)

2018年7月17日(火) 午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

《大学礼拝》

司 式 小林昭博(宗教主任)
奏 楽 佐藤理恵(野幌教会会員)
讃美指導 相原晴伴(循環農学類教員)

前 奏 「われに来たれ、と神のみ子は語りたもう」
(カムマイヤー作曲)

讃美歌 讃美歌 312番(いつくしみ深き)
聖書 ローマの信徒への手紙 12章 15節
祈り
さんび 酪農学園大学聖歌隊
奨励 「共感する力」 小林昭博
(宗教主任・循環農学類キリスト教応用倫理学研究室准教授)

報告
讃美歌 讃美歌第二編 167番(われをもすくいし)
後奏 「おおイエス・キリストよ、わが生命の光」(ヴァーク作曲)

【本日の聖書】ローマの信徒への手紙 12章 15節
15 喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。

【西日本豪雨について】

西日本豪雨によって、150名以上の方が亡くなりました。また、50名以上の方が未だ行方不明という心配な状況が続いています。北海道でも旭川を中心に被害が生じています。みなさんの出身地でも多くの被害が生じていることと思います。夏休みに被災地でボランティアをする方もいると思いますが、安全には十二分にお気を付けください。なお、東日本大震災時のように、北海教区からボランティアの募集が来たときには、キリスト教教育委員会を通じて大学のみなさんにお声がけさせていただきます。

【聖歌隊へのお誘い】

後学期に向けていっそう聖歌隊の参加者を募集しています。礼拝後にオルガン前で練習していますので、ぜひご参加ください。